

第 51 回（令和 3 年度第 12 回） 新型コロナウイルス感染症対策会議

R3.8.26 PM2:00～

5F 大会議室

出席者：金井会長、水谷・神田・廣澤副会長、桃木・松本・丸木・

登坂・松山・長又・寺師・鹿嶋・小室常任理事

県保健医療部 小松原副部長 ワクチンチーム 秋田企画幹

金井会長

本日も県担当者に出席いただいている。まず、ワクチンチームから説明をお願いする。

秋田企画幹

感染動向から説明する。資料の 1 ページのとおり検査件数は、感染動向がひっぱられたことに伴い数が多くなっている。2 ページの陽性率の推移であるが、感染が大きいため、陽性率は高めになっている。一時、24%を超える時期もあったが、若干落ち着きを取り戻しており、現在、17%台で推移している。3 ページの陽性者の推移であるが、特に 7 月に入ってから、滝を昇るようにすごい勢いで垂直に上がっていったが、ほんの少しピークを超えて下向きになっている傾向はみえているが、まだ予断を許さない状況となっている。4 ページは病床使用率である。病床使用率も非常に高くなっており、一般の病床使用率が 70.7%で、重症病床が逆転して 78.5%ということで、非常に厳しい状況となっている。5 ページは 3 週間の発生動向であるが、総数を見ていただければ勢いがわかると思うが、8,000 人台から 10,000 人、それから 11,000 人となっている。ただし、高齢層はワクチン接種が進んでいるということもあり、数は非常に少なくなっている。40 代 50 代もワクチン接種が 40%超えてきているところもあるため、少しずつ効果が見え始めているようである。10 ページは現在の国のステージ指標を比較したものである。全てが赤字になっており、かなり厳しい状況になっている。

続いてワクチンの接種状況について説明する。菅首相が 8 月末までに全人口の 40%を接種すると報道等で発言しているが、その趣旨は、集団免疫の効果が出始めるのが、約 4 割と言われていることによると聞いている。埼玉県では、全人口に対し、1 回目が 44.1%、2 回目

が34.8%で、8月末までに40%は微妙なところであるが、かなりの勢いで、接種していただいている。23日から24日の1日で、85,655回と、ここ数日90,000回や80,000回がかなり出ているため、かなりのペースで打っていると考えている。12ページはファイザー製ワクチンの供給量の見通しである。分配量が7月には非常に少ない状況が続いていたが、9月に入り、第13クールから第15クールにかけては、数が飛躍的に伸びている。この数は、高齢者の接種が盛んであった6月の分配量と大差がないくらいの数である。この考え方は13ページをご覧ください。国は今まで高齢者の接種率が高くて当たり前の地方を優先していたが、第15クールまでは、全対象者の80%に相当する必要な数量は全ての自治体で確保できるようにということで、分配方針を定めていただいた。これまで埼玉県は8月は非常に少なかったが、今の考え方から、これまで足らなかった分をこの3回で一気に埋めていただけるということである。規模感を説明すると、まずワクチンの分配であるが、第15クールまでで、ワクチンの総数で9,758,190回分になっている。それからモデルナ社のワクチンを使用し、職域接種等を行っているが、これが8月23日現在の数字が598,040回分である。県内の接種対象者は、12歳以上になっているが、この2回接種分になると13,360,480回分となる。これを割り算すると77.5%となっているが、まだ職域接種が8月23日までにVRSに入力された分となっており、未入力の分が沢山あるということが想定されるため、まだまだ伸びてくるはずである。それらも含め、80%を超える見込みとなっているため、ワクチンについては、心配していた状況は多少解消できるのではないかということで、紹介した。

ワクチンについては、以上である。簡単なインフォメーションであるが、明日、県議会臨時会が開催され、補正予算を提出する見込みとなっている。今回臨時会を開催する趣旨は、緊急事態宣言の発令に際し、コロナ対策の関係予算を一括して補正予算に挙げることになっている。この後、自宅療養等について説明があると思うが、ワクチンチームが所管している事業が2つあるので、ご案内したい。ひとつは、後遺症への対応ということで、14ページとなる。後遺症の外来については、現在ホームページで調べると、公平病院、ふじみ野救急など数力所が公表されている。多くの先生方が診察されていると思うが、

後遺症外来という形での公表はしてないという状況である。これだけ感染者が増えており、一定数の後遺症が見込まれるため、そのような方々が受診できるような体制を県医師会に協力いただき、対応していきたいと考えている。具体的には県内 8 医療機関にモデル的に後遺症外来を標榜し、診察していただき、そこで集まった診療事例を蓄積して、診察の指針となるような症例集を作成していただく。一連のタスクについて、県から県医師会に委託し、県医師会内に検討会を設置いただき、事業の進捗をみていただくことを想定している。二つ目の事業は、15 ページをご覧ください。今後ワクチンが潤沢に来ることになったが、集団免疫を獲得するためには、若い人たちに沢山接種いただく必要がある。そうしたための取り組みとして、県のワクチンチームの若手職員が、どうしたら若者に届くかを試行錯誤し、そのためのPR活動を実施したいと考えている。今の若者の意識について、1,760 名にアンケート調査を実施している。その結果をみると 70%の方が接種に前向きであるが、高齢者の 80%に比べると、まだ少ない。それから、見る媒体についても YouTube 等が多いということと、根拠なく、自分は大丈夫だと思っている方とか、先生方心配されている認識不足が見て取れるため、こうしたものを若者目線で届けるような事業を考えているところである。

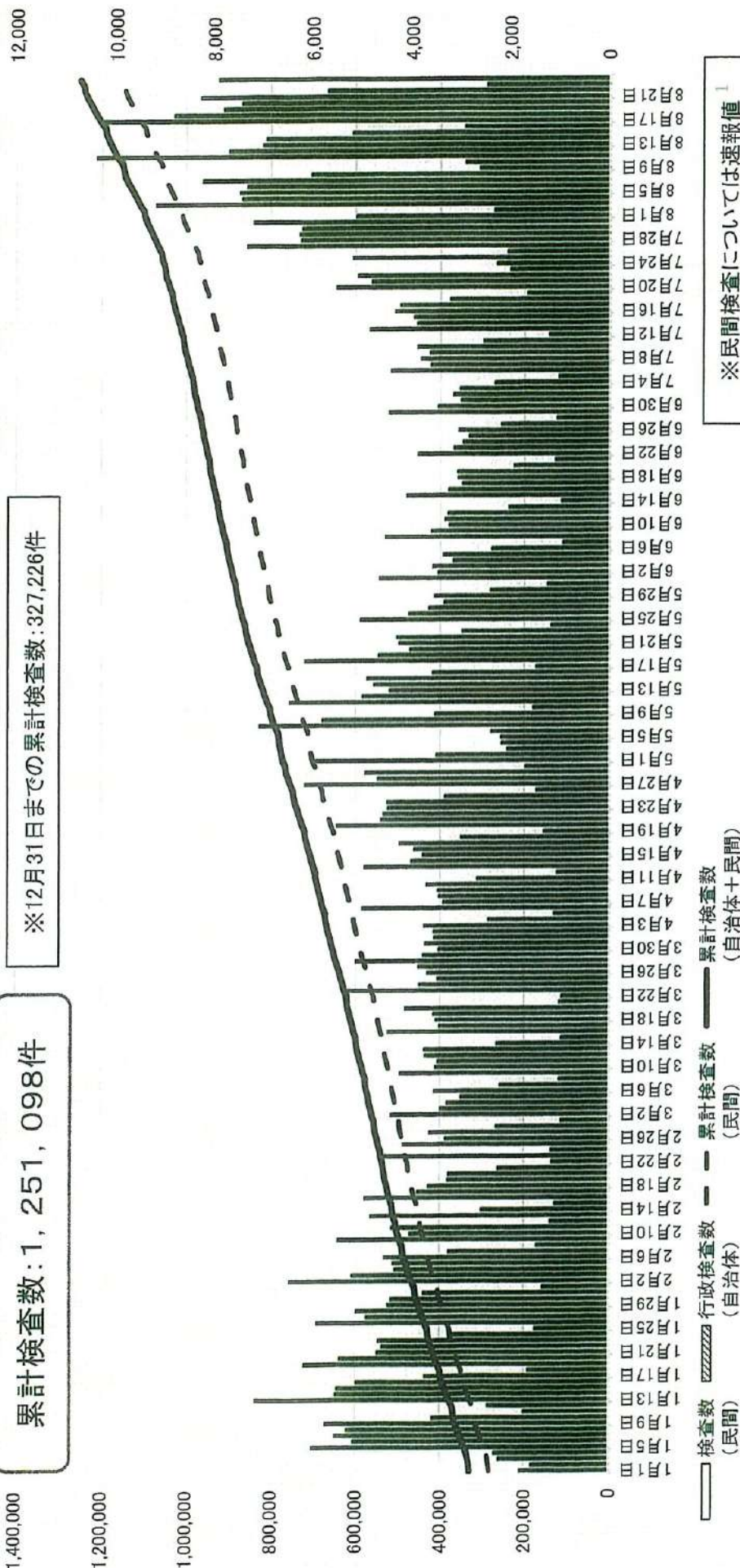
金井会長

後遺症については、現在医師会内で検討委員会を開催しているが、これは、また別である。

PCR検査等の現状

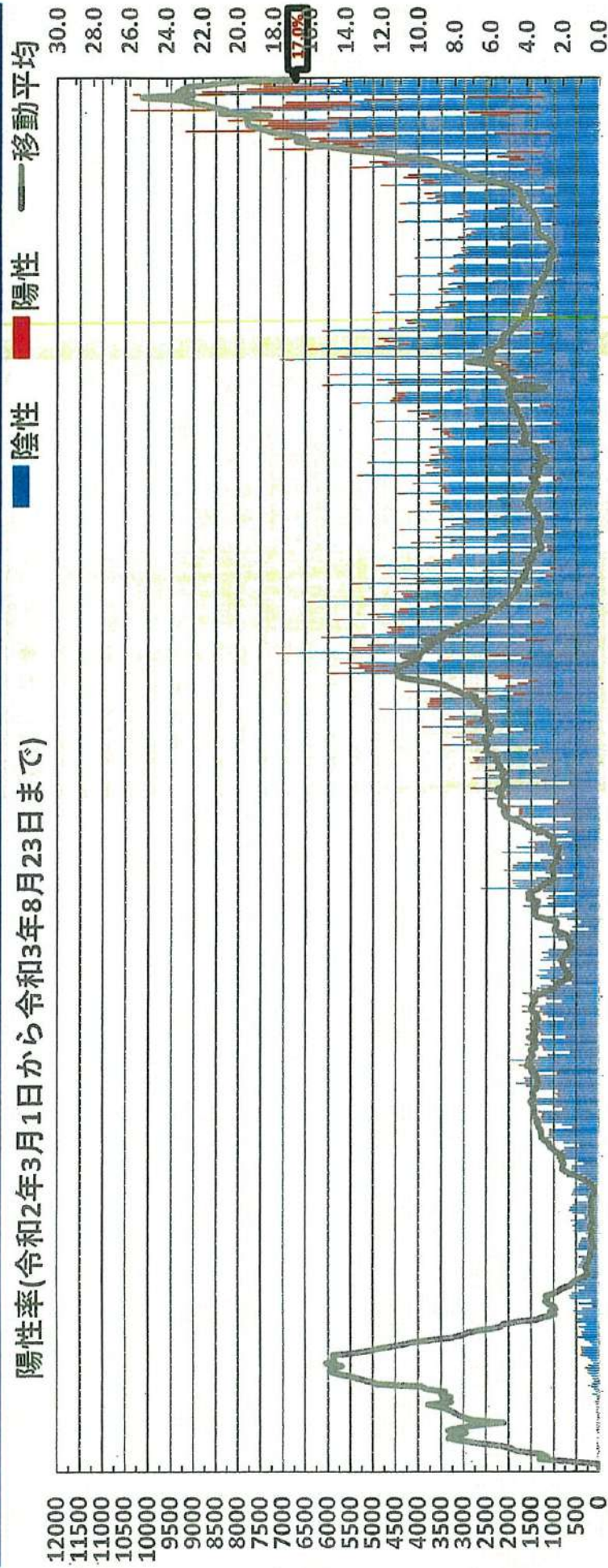
累計検査数: 1, 251, 098件

※12月31日までの累計検査数: 327,226件



陽性率の推移

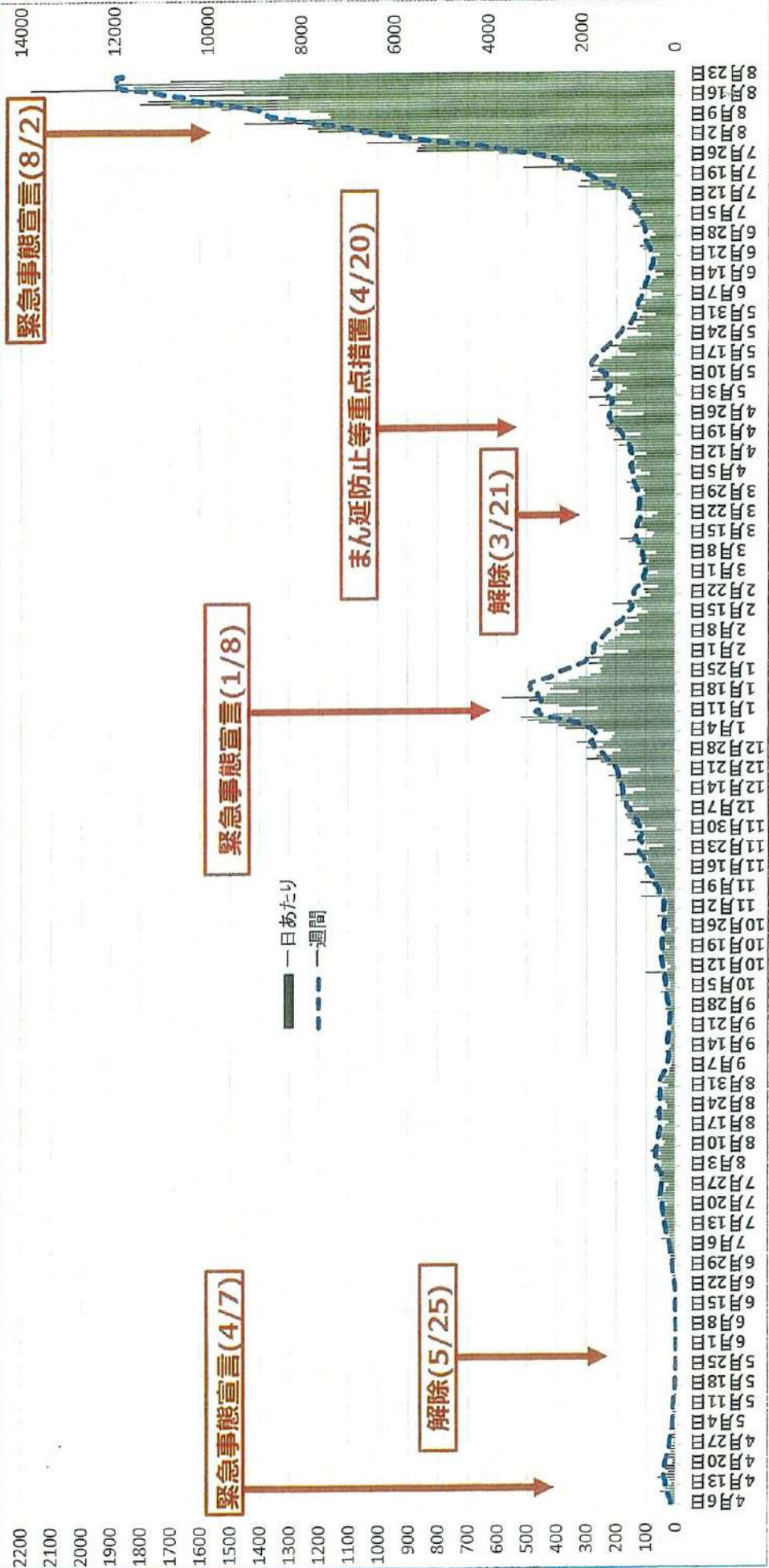
陽性率(令和2年3月1日から令和3年8月23日まで)



3月1日 4月1日 5月1日 6月1日 7月1日 8月1日 9月1日 10月1日 11月1日 12月1日 1月1日 2月1日 3月1日 4月1日 5月1日 6月1日 7月1日 8月1日

※陽性率は、民間検査の検査人数が報告されるまでのタイムラグなど日々の結果のばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、移動平均の値を使用。
 「過去7日間に判明した陽性者数」を「過去7日間に判明した陽性者数と陰性者数の和」で除した値を、その日の「陽性率(移動平均)」としている。
 ※民間検査分は速報値であるため、遡って数値を修正する場合があります。
 ※陰性確認のための検査は含まれていない。

陽性者数の推移(日別)



病床使用率の推移

即応病床
1,753床

うち、重症患者受入病床
209床

— 確保病床使用率
- - - 重症者用病床使用率

入院者数: 1,240人
使用率: 70.7%

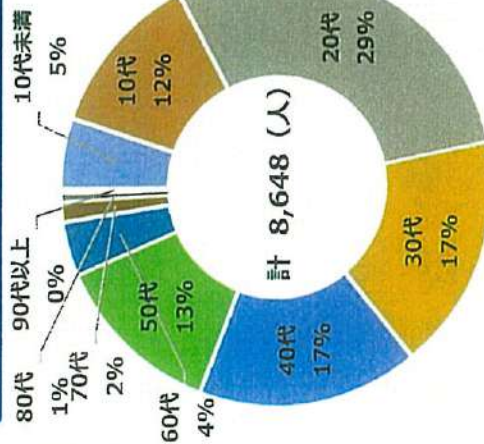
うち重症: 164人
使用率: 78.5%

90.0%
80.0%
70.0%
60.0%
50.0%
40.0%
30.0%
20.0%
10.0%
0.0%

4月8日 4月23日 5月8日 5月23日 6月7日 6月22日 7月7日 7月22日 8月6日 8月21日 9月5日 9月20日 10月5日 10月20日 11月4日 11月19日 12月4日 12月19日 1月3日 1月18日 2月2日 2月17日 3月4日 3月19日 4月3日 4月18日 5月3日 5月18日 6月2日 6月17日 7月2日 7月17日 8月1日 8月16日

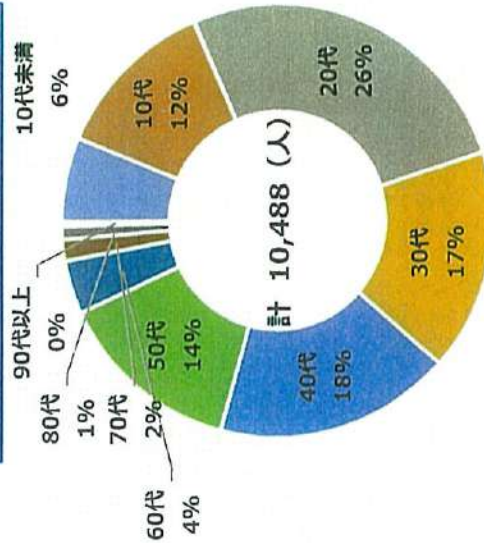
3週間の発生動向について(年齢別)

①8月3日～8月9日

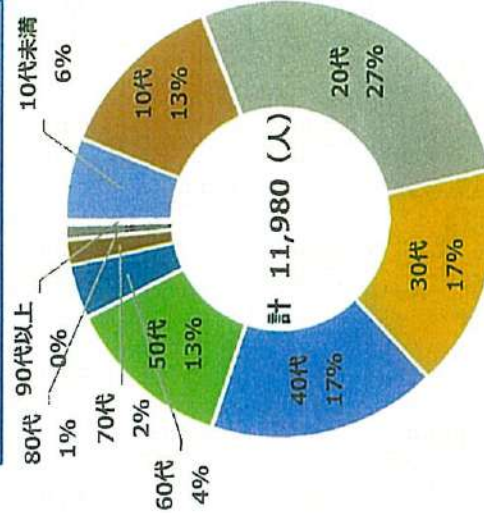


割合

②8月10日～8月16日



③8月17日～8月23日



6000

5000

4000

3000

2000

1000

0

実数

5257

4499

4045

2540

3321

3572

5

①

②

③

5

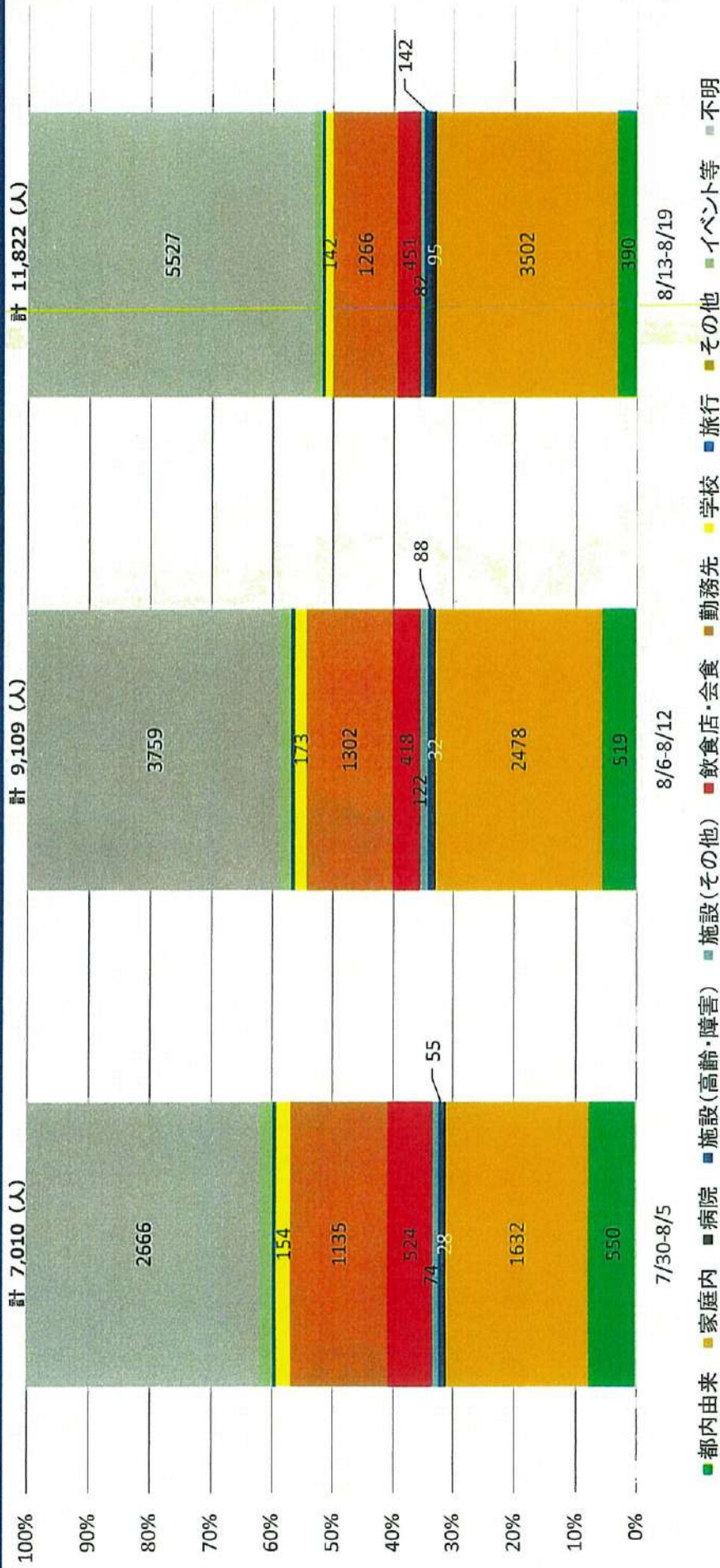
873

720

559

60代以上

感染経路推移【1週間ごと・構成比】(発表日ベース)

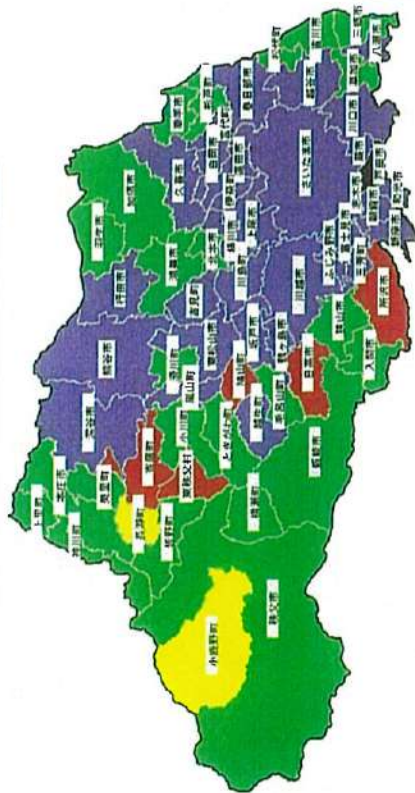


※以下の理由で7月末より感染経路「不明」の割合が増加している。

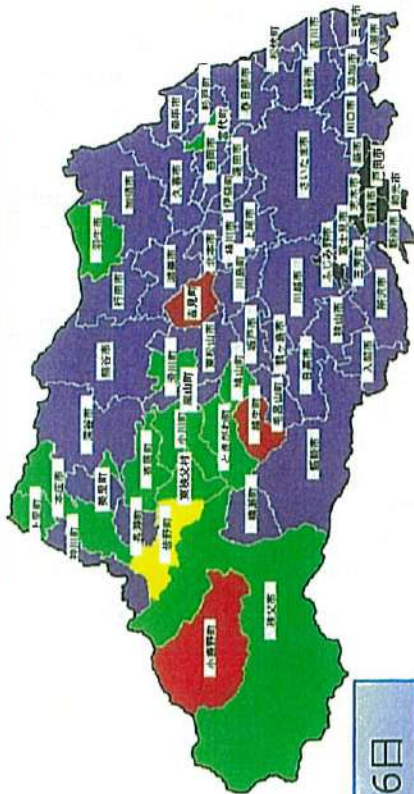
①積極的疫学調査の縮小、重点化 ②さいたま市、越谷市発表分の詳細情報が未達なため

人口10万人あたりの新規陽性者数(1週間ごと)

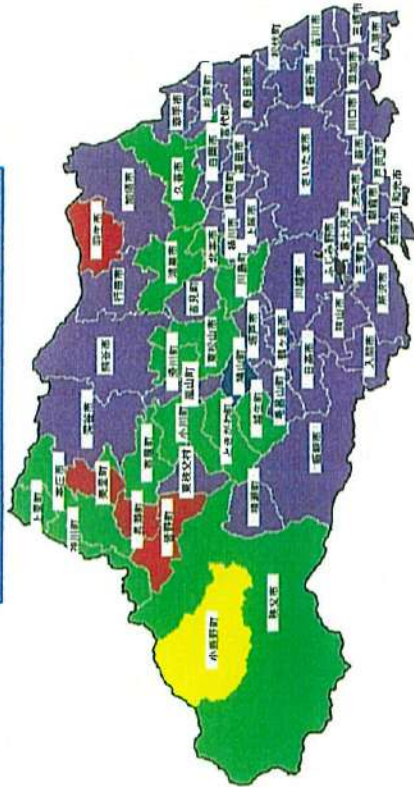
8月3日～8月9日



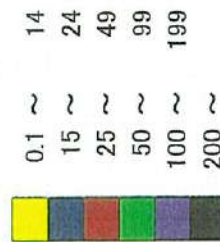
8月17日～8月23日



8月10日～8月16日



(人口10万人あたりの人数)



市町村別新規陽性者数(1週間ごと)

8月3日～8月9日

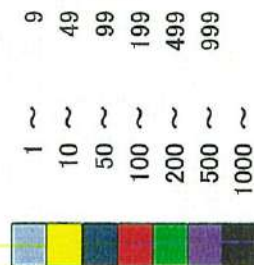
8月17日～8月23日



8月10日～8月16日



(新規陽性者数)



埼玉県の感染動向の推移について(ステージ指標)

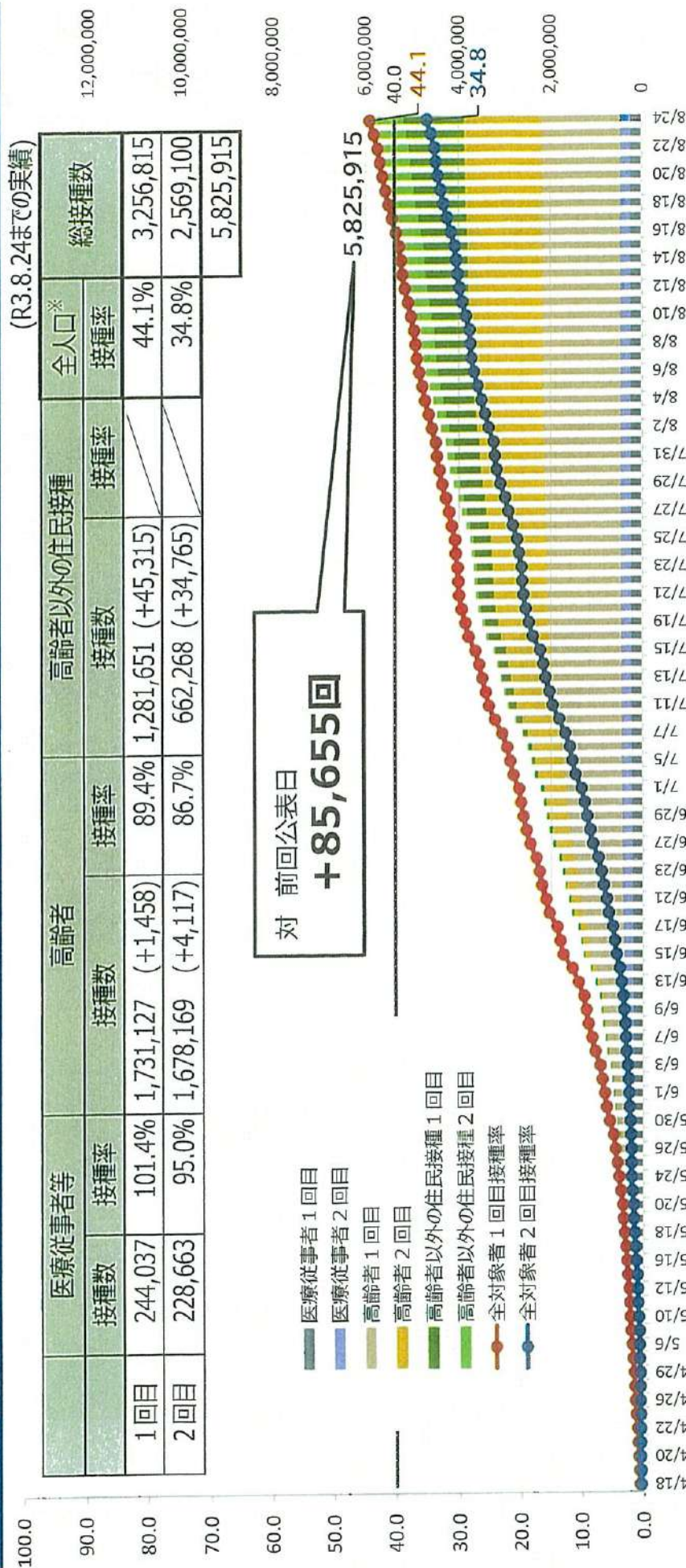
	ステージⅢ指標 (ステージⅣ指標)	8月10日	8月17日	8月24日
病床全体使用率	確保病床の使用率20%以上 (50%以上)	64.2% (1,082/1,685)	69.6% (1,188/1,707)	70.7% (1,240/1,753)
入院率	40%以下 (25%以下)	— (1,082/—)	— (1,188/—)	— (1,290/—)
重症病床占有率	確保病床の使用率20%以上 (50%以上)	61.8% (102/165)	73.1% (125/171)	78.5% (164/209)
療養者数	人口10万人当たりの 全療養者数20人以上 (30人以上)	— (—)	— (—)	— (—)
PCR検査陽性率 (※1週間の平均)	5% (10%)	21.0%	22.5%	17.0% ※8月23日の数値
新規報告数	15人/10万人/週以上 (25人以上)	119.4人 (8,762人)	149.3人 (10,957人)	158.9人 (11,663人)
感染経路不明割合	50%	54.2%	52.5%	52.9%
※参考 実効再生産数	※計算法 =(直近7日間の新規陽性者数/その前 の7日間の新規陽性者数)^(5日※/7 日)※平均世代時間を5日と仮定	1.261	1.173	1.046 ₉

ステージ指標1都3県比較（0824時点）

	医療提供体制などの負荷				監視体制	感染の状況		
	病床のひっ迫具合			療養者数	PCR陽性率	新規報告数	※参考 直近1週間と 先週1週間の 比較	感染経路 不明割合
	病床全体	うち重症者用病床	入院率					
ステージⅢ指標 (ステージⅣ指標)	確保病床の使用率20%以上 (50%以上)		40%以下 (25%以下)	人口10万人当たり の全療養者数 20人以上 (30人以上)	5%以上 (10%以上)	1週間 10万人当たり 15人以上 (25人以上)	直近1週間が 先週1週間より 多い	50%以上
埼玉県	70.7% (1,240/1,753)	78.5% (164/209)	-	-	17.0%	158.9人	1.06	52.9%
東京都	69.1% (4,124/5,967)	※1 (68.4%) (268/392)	9.9%	299.2人	21.5%	234.3人	1.09	60.3%
神奈川県	81.8% (1,693/2,070)	87.5% (245/280)	9.6%	190.4人	37.0%	184.3人	1.16	68.7%
※8/23時点 千葉県	79.3% (1,087/1,371)	77.3% (102/132)	7.9%	220.1人	29.0%	172.5人	1.31	77.8%

※各自治体HP等による ※1 東京都の定義による重症者数を計上

新型コロナウイルスの接種実績



※「医療従事者」はV-SYS、「高齢者」「高齢者以外の住民接種」はVRS(最新の実績値)からそれぞれ数値を参照
 全人口の接種率は、便宜上、R2.1.1時点の埼玉県の住基人口(739万43人)に対する、表中の接種回数合計の割合から算出
 医療従事者等 1 回目は、県に接種券付き予診票の申込みがあった約24万人の接種が完了

ファイザー社製ワクチンの供給量の見通し①

配送時期	全国		埼玉県	
	箱数	回数	箱数	回数
第1クール	100	97,500	市町村分 2	1,950
第2クール	500	487,500	市町村分 10	9,750
第3クール	500	487,500	市町村分 10	9,750
第4クール	5,741	5,597,475	市町村分 282	274,950
第5クール	16,000	18,720,000	市町村分 1,095	1,281,150
第6クール	16,000	18,720,000	市町村分 750	877,500
第7クール	13,500	15,795,000	市町村分 660	772,200
第8クール	16,000	18,720,000	市町村分 815	953,550
第9クール	11,000	12,870,000	市町村分 569	665,730
第10クール	10,600	12,402,000	市町村分 540	631,800
第11クール	10,000	11,700,000	県接種会場分 8	9,360
第12クール	10,000	11,700,000	市町村分 520	608,400
第13クール	9,244	10,815,480	県接種会場分 27	31,590
第14クール ※基本枠	9,243	10,814,310	市町村分 499	583,830
第15クール ※基本枠	9,173	10,732,410	県接種会場分 33	38,610
			市町村分 824	964,080
			県接種会場分 33	38,610
			市町村分 824	964,080
			県接種会場分 33	38,610
			市町村分 824	964,080
			県接種会場分 33	38,610
県への累計			9,758,190	

ワクチン確保率【第15クール（9月27日の週、10月4日の週）分配後】

- 国は、第15クール（9月27日の週、10月4日の週）までに、モデルナ社製のワクチンを活用した職域接種などを含めて、接種対象者の8割に接種できる数量のワクチンを分配する方針を示した。

1 ワクチン分配等

- 埼玉県のアイザー社製の分配量（第15クールまで） 9,758,190回分 ①
- 職域接種等のモデルナ社製の接種実績（1回目接種×2回分） 8月23日までに598,040回分 ②

2 接種対象者の全員分の接種回数

- 埼玉県内の12歳以上人口6,680,240人 × 2回接種分 = 13,360,480回分 ③

3 ワクチン確保率

$$(\text{アイザー①} + \text{モデルナ②}) \div \text{接種対象者③} = 77.5\% + (\text{職域接種の伸び} + \text{モデルナ追加分配})$$

※ 今後の職域接種の伸びとモデルナ社製ワクチン追加分配を加えると8割を超える見込み

13

新型コロナウイルス感染症の後遺症への対応

現状と課題

現状

新型コロナウイルス感染症に感染すると、回復後も様々な後遺症が報告されている。

(後遺症の例)

- 強い倦怠感
- 味覚・嗅覚障害
- 呼吸困難
- 抜け毛
- うつ症状



課題

これらの後遺症に対する知見が少なく、後遺症外来を標榜する医療機関がほとんどない。

後遺症に苦しむ方が
治療を受けることが難しい

県医師会と協力し、

後遺症の診療に対応できる医療機関を拡充



① 県内の 8 医療機関に、後遺症外来を標榜してもらう

(10月から外来開始予定)

⇒ 様々な後遺症に悩む患者の診察を行い、診療事例を蓄積

複数の診療科目を診察可能な 8 医療機関が様々な後遺症に対応

- ・概ね全分野に対応
- ・呼吸器科 (呼吸困難等)
- ・皮膚科 (抜け毛等)

- ・耳鼻科 (味覚・嗅覚等)
- ・精神科 (うつ症状等)

⇒ 主にづらい症状に対応した医療機関を受診し、複数の症状についても病院内で診療

② 診療現場で
症例を蓄積

診療の指針となる
症例集を作成

多くの医療機関で
後遺症の診療を可能に

若年層向けワクチン接種推進のための効果的な広報

①若者に「刺さる」方法で周知

- ・若者が普段から接する「刺さる」メディアを使って周知
- ・定量・定性調査の結果を踏まえて、活用する媒体を選択する。

☆複数媒体を活用

YouTube

Twitter

Facebook

Instagram

LINE



YouTube等による広告（イメージ）

印象に残る映像で
誘導

9月末までに12歳以上の8割に相当する数量のワクチンが分配される

②正しい情報（＝コンテンツ）を届ける

- ・SNS等から誘導されてきた若者が、正しい内容を素直に受け止め、ワクチンを接種したくなるような情報を特設サイトに掲載
- ・情報の内容は、定量・定性調査により正しく把握

☆特設サイトに正しい情報を掲載

（コンテンツ案） ※事前に実施したモニタリングから案を作成

○「正しく怖がらせる」

…コロナの症状・後遺症等を紹介する動画等を掲載

○若者目線で本当に知りたい情報を

…ワクチンのメリット・デメリットなどについて、対談形式や双方向の対話で疑問に正面から答える

○ワクチンの正しい知識

…副反応等に対する正しい情報提供。丁寧にデマを否定



【参考】定量調査(県内若者1,760人に対するアンケート)の概要

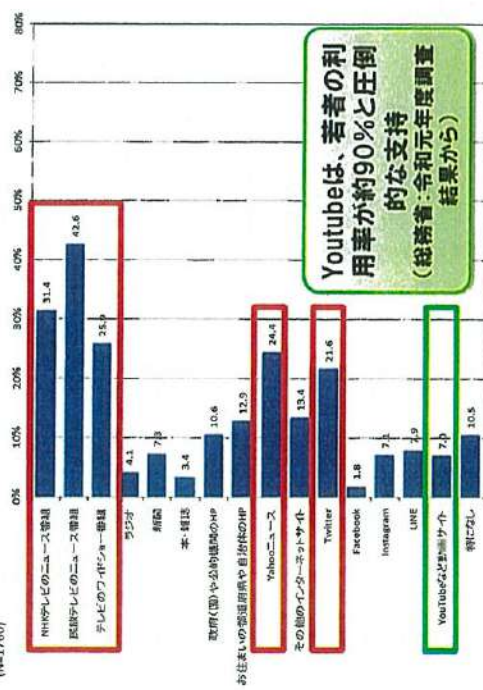
○接種希望(単独回答)

必ず接種する 24.3%
おそろく接種する 23.5%
すでに1回以上ワクチンを接種した 22.6%

約70%が接種に前向きだが、高齢者の接種率と比較すると低い。
(高齢者接種率83.8%
(2回目終了/8月19日時点))

○ワクチン関連の情報源(複数回答)

【Q20】ワクチン関連の主な情報源をお選びください。(お答えはいくつでも)
(N=1760)



行政が自らテレビ媒体を活用することは現実的でないため、Yahooニュースへ掲載、Youtube、Twitter利用が効果的

○コロナに対する不安感(単独回答)

不安を感じていない 5.8%
あまり不安を感じていない 7.6%
どちらでもない・わからない 10.8%

不安がない理由
・具体的な理由がない(47.9%)
・重症化しない(26.7%)
・周囲のワクチン接種が進んでいる(19.9%)
・感染しても周囲に影響がない(8.1%)

→約25%の若者は新型コロナウイルスに強い不安を抱えていない

○ワクチンを接種しない理由(複数回答)

副反応への心配 65.6%
ワクチンの効果に疑問 36.4%
ワクチンの安全性・信頼性に不安 35.6%

副反応は数日で収まり、感染のリスクと比べてデメリットが小さいことが伝わっていない

→副反応のなかでも、将来発生する副反応への影響を懸念が40.1%と最も多く、アナフィラキシー26%、発熱24%が続く

今後のヒアリング
調査や若者との座談会で肉付けを行っていく

○ ワクチンの副反応への理解と、ワクチン接種への誤解を解いていく
○ コロナ感染のリスクと恐怖、後遺症の苦しさを伝え、正しく怖がらせる
○ 感染による周囲への影響や医療への負荷などの理解を深めてもらう

緊急事態宣言！包括的強化パッケージ（7月30日・県対策本部会議決定）

現 状

爆発的な感染拡大 → 緊急事態宣言

- これまでにない感染スピード
- 都市部・郊外問わず、感染拡大
- 入院者は、第3波の最大974人に匹敵する919人！（R3.7.29現在）

これまでと比べ

最も強く徹底した対応
幅広い協力が
必要

ワクチン接種とともに
包括的強化パッケージ
を強力に推進

4つのポイント

攻める！
（積極的介入）

守る！
（体制の強化）

連携する！
（市町村との協調）

お願いする！
（県民・事業者の皆様へ）

①病床の更なる
拡大

②宿泊療養施設
の確保

③カクテル療法
の開始

④酸素ステーションの
準備

埼玉県知事記者会見

令和3年8月24日

医療体制の強化について

① 病床の更なる拡大

【フェーズⅣ】
6月20日時点
(第5波開始期)
病床数 1,661床
(うち重症 164床)



【感染者急増時体制】
8月24日時点(本日)
病床数 1,753床
(うち重症 209床)



【感染者急増時体制】
8月31日時点(予定)
病床数 **1,798**床
(うち重症 **210**床)

※病床には新型コロナウイルス専用医療施設

8 医療機関255床含む

② 宿泊療養施設の確保

- ◆ 宿泊療養施設の確保
⇒ 4月以降、
4施設の新規開設 (計**13**施設)
1, 8 4 3室の確保 (8月24日現在)
4月1日以降 7 2 1室を新規確保

- ◆ 一日当たりの新規陽性者の受入れ
⇒ 8月以降、平均**103名**の受入
(4月平均54名の受入)

埼玉県知事記者会見

令和3年8月24日

医療体制の強化について

③ カクテル療法の開始

- ◆ 重症化リスクを有する軽症患者へ投与
⇒ **重症化の防止に期待**
- ◆ 8月16日から拠点病院などで
投与開始
⇒ **特例的に在庫配置が認められ適時
投与が可能**
- ◆ これまでに (8/16～8/22)
⇒ **32人に投与、いずれも経過は順調**

④ 酸素ステーションの準備状況

新型コロナウイルス感染症自宅療養者のうち、入院が必要と判断された県民の搬送先が確定するまでの間、緊急的に酸素投与を行う施設の設置を準備中である。

【設置】

**1か所目の開設に向け準備中
医師、看護師が常駐(24時間対応)**

【機能】

**酸素投与、血中酸素飽和度・
体温・血圧の測定・管理**

<報道発表資料>

令和3年8月26日

**新型コロナウイルスワクチン（武田／モデルナ社製）の
一部ロットの使用見合わせについて**

令和3年7月26日、厚生労働省から、武田／モデルナ社製の新型コロナウイルスワクチン（販売名：COVID-19 ワクチンモデルナ筋注）の一部ロットの使用見合わせについて通知がありました。

本県においても使用を見合わせの対象となるロットのワクチンが供給されているため、お知らせいたします。

なお、本県における新型コロナウイルスワクチン接種への影響は下記のとおりです。

記

1 対象となるワクチンのロット番号

販売名：COVID-19 ワクチンモデルナ筋注

対象ロット：Lot 3004667（約5万7千本）

Lot 3004734（約5万2千本）

Lot 3004956（約5万4千本） ※本数は全国のもの

2 埼玉県内の状況

(1) 県の接種会場：埼玉県南部ワクチン接種センター（埼玉県浦和合同庁舎）

ア 供給を受けた数量（累計）

○ 7,280 バイアル

イ 該当ロットの数量

○ 700 バイアル（該当ロット No. 3004667）

うち、接種済 654 バイアル

未接種 46 バイアル (異物混入 19、未使用 27、計 46)

ウ 県接種センターにおける異物のチェック体制

- ワクチンの接種日の前日までに、異物混入がないかを薬剤師がチェックし、接種当日に注射器にワクチンを充填するタイミングでも、充填担当の看護師がチェック
- そのため、接種済のワクチンにも異物が混入されていないことを確認済

エ 今後の接種への影響

- 該当ロット以外のワクチンを活用するため、当面の間、接種に影響なし

(2) 市町村の接種会場 (戸田市のみ)

: 戸田中央大規模接種センター (戸田中央総合病院)

ア 供給を受けた数量

- 2,250 バイアル (本日配送分含む)

イ 該当ロットの数量

- 460 バイアル
(8/12 納品 3004667 : 210 バイアル 8/19 納品 3004956 : 250 バイアル)
うち接種済み 1,633 回 (8/22=793 人、8/24=356 人、8/25=484 人)
⇒ すべて 8/12 納品分
未接種 2,967 回

ウ 今後の接種への影響

- ・ 8/26 の接種は中止し、延期
- ・ 8/26 の接種予定者には、中止・延期を電話にて順次連絡。
- ・ HP で 8/26 の中止・延期は周知。

(3) 職域接種・大学接種

- 該当ロットが供給された施設数 13 施設 ※ 詳細について国に確認中

3 県民の皆様へ

- 武田薬品工業株式会社及び厚生労働省によると、これまで、対象ロットにおいて本件に関連して発生したとみられる安全性上の懸念に関する報告はない
とのことです。
- 対象となるロットを接種した後、普段と変わったことがあった場合には医師に相談してください。埼玉県新型コロナワクチン専門相談窓口

(TEL : 0570-033-226) でも相談を受け付けています。

- 既に接種された方はお手元の接種済証のロット番号にて確認することができます。

接種済証に貼付されたロット番号確認用のシール（見本）

